

2011年1月20日

報道関係各位

東京大学海洋アライアンス

女子中高生・大学生を対象にしたセミナー開催のお知らせ

東京大学海洋アライアンスと日本財団は、東京大学海洋アライアンスのメンバーを含む女性海洋研究者による海洋学のテキスト本『海のプロフェッショナル—海洋学への招待状—』の出版を記念して、女子中高生・大学生を対象に標記のセミナーを開催しますので、お知らせします。

今回のセミナーでは、著者をはじめ、海に関わりを持つ女性たちが海の魅力を語ります。語ってくれるのは、現役の大学院生、大学の教員、研究所の研究員、水族館職員、環境 NPO 主宰者、海洋関連企業の職員および海上保安庁の女性船長など、多士済々です。パネルディスカッション、ポスターセッションや進路相談会、書籍販売(2割引)等を企画し、もっと多くの女性たちを海の世界にいざなうことを目的としております。

ぜひ、記事掲載及び取材等をお願いいたしたくご案内申し上げます。

日 時:	2011年1月29日(土) 午後 2時から5時
場 所:	東京大学駒場キャンパス 学際交流ホール(アドミニストレーション棟3階)
対 象:	女子中高生・大学生および引率保護者・教員 (学校の先生や保護者の参加も歓迎しています。)
定 員:	100名(応募多数の場合は女子生徒・学生を優先して受付)
参加費:	無料
申込み:	海洋アライアンスのホームページから http://www.oa.u-tokyo.ac.jp/news/2010/12/2011129.html
主 催:	東京大学 海洋アライアンス、日本財団
後 援:	海洋研究開発機構(JAMSTEC)、新江ノ島水族館、海洋政策研究財団、 日本海洋事業(株)

『海のプロフェッショナル—海洋学への招待状—』は、“海の仕事に女性が少ないのはなぜ?”、そんな疑問を胸に、21名の女性研究者が著したロールモデル本です。

昔は女性が船に乗れませんでしたし、“女だてらに”、といった考えがあり、海の分野で活躍する女性は稀でした。しかし、勇気ある先人たちの努力の蓄積により、徐々に、海洋学者、船員、船の研究支援員など、海や船上で活躍する女性が増えています。さらに海洋学を学ぶ女子学生も年々増加しています。このセミナーは、この勢いを加速させるべく、もっと多くの女性たちを海の世界にいざなうことを目的に企画しました。

<プログラム>

- 14 : 00~14 : 10 出版の趣旨説明 窪川かおる (東京大学)
- 14 : 10~14 : 40 セッション1 : “海洋学の学生生活” (於東京大学)
理系女子大学院生ライフ - 自然と人と自分と向き合う -
菅澤承子 (農学生命科学研究科・海洋アライアンス, 修士1年)
磯の海洋生物に発生の不思議を見つける (仮題)
鶴ヶ谷柊子 (理学系研究科・三崎臨海実験所, 博士3年)
船に乗って研究 (仮題)
丹藤由希子 (農学生命科学研究科・水圏生物科学専攻, 平成22年水産学
博士)
- 14 : 40~15 : 10 セッション2 : “海の研究, 海の仕事” ポスターセッション
16 課題の研究ならびに仕事の紹介
- 15 : 10~16 : 10 セッション3 : “海を仕事にする” (司会 脇田)
- | | |
|-------------------|--------------------|
| 人間活動と海洋環境の変化 | 井上麻夕里 (東大・大気海洋研究所) |
| 生命と環境のつながり合い | 渡部裕美 (海洋研究開発機構) |
| 白鳳丸の調査・研究 | 黒木真理 (東大・総合図書館) |
| 海の自然を伝える活動 | 鹿谷麻夕 (しかたに自然案内) |
| 海洋調査をサポートする | 青木美澄 (日本海洋事業) |
| 水族館のお仕事 | 足立文 (新江の島水族館) |
| 地球深部探査船“ちきゅう”での仕事 | 木戸ゆかり (海洋研究開発機構) |
| 海運の仕事 (未定) | 高城尚美 (商船三井) |
| 海上保安庁の仕事 (未定) | 川原山由香 (海上保安庁) |
- 16 : 10~16 : 40 総合討論 (司会 脇田, 窪川)
- 16 : 40 閉会挨拶
- 16 : 45~17 : 00 進路相談会

<問い合わせ先>

東京大学大気海洋研究所内、海洋アライアンス事務局

<会場地図>

<http://www.c.u-tokyo.ac.jp/access/index.html> (駒場キャンパスまでのアクセス)

http://www.c.u-tokyo.ac.jp/jpn/kyoyo/map/campusmap_adm.html (会場地図)

